

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
(メール tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/)

建交労 **の** とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03(3820)8644(代)
fax 03(3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円(〒60円)



上の写真は挨拶する松田委員長
左の写真は争議団です。
左からやまて、京王新労組、鉄道の各仲間です。

議案採決の後、争議団・新組合の紹介が行われ、○八年末カンパが争議団のうちで裁判・労働委員会等第三者機関の場でも闘っている全動労、京王新労組、やまての各争議団にカンパが送られ委員会は終了しました。参加者は役員・委員・傍聴合わせて六八名でした。

ピンチをチャンスに 今が労働組合の出番

2月7日
第14回委員会
4万円賃上げ
09春闘方針決定

一月七日、エテユカス東京地下会議室で東京都本部第一四回委員会が行われ、四万円の賃上げをはじめとする都本部統一要求、闘う態勢、具体的行動など○九春闘方針を決定しました。また中間決算・監査報告が承認されました。

長に三多摩支部山下さんと北部支部井川さんが選出されました。最初に松田委員長から一〇〇年に一度の恐慌ともいえる現下の政治・経済情勢について約三〇分報告があり、ピンチをチャンスに変えて○九春闘を闘いぬく決意を込めた挨拶がありました。

一〇〇議案として昨年定期大会以降の活動報告、二号議案として昨年一二月一四日に行われた○九春闘討議集会以提案した○九春闘方針を補強した第二次案を提案しました。石川書記次長が中間決算報告、内野会計監査が監査報告を行いました。

討論では一六人が発言しそれぞれの取り組みと闘う決意が述べられました。討議に先立ち江文副委員長から三月一日にトラック部会が労使共同で行う運輸関係の経営環境・労働環境改善をアピールするトラックパレードを成功させるための説明と訴えがありました。



右わらび座のみなさん
上來賓のご挨拶

恒例の東京都本部新春旗開きが一月十七日、東京トラック健保会館六階大会議室で盛大に行われ来賓・出演者の皆さんも含めて一〇四名が参加しました。

植木都議会議員・日本共産党都委員会池田常任委員、そして建交労佐藤委員長に感謝いたします。今年は主催者の計らいで楽しい文化行事「玉すだれ」の技・技・技、飛び入りでわらび座の踊りと歌が加わりました。「参加者がたくさん居ればもっと楽しいね!」の感想も出ていました。

参加者が多ければもっと楽しいね!
○九新春旗開き 文化行事に
お楽しみ抽選会と盛りだくさん



熱演に拍手喝さい 習志野南京玉すだれの会を主宰しているご夫婦です

ひととき

かつて「国富論」のアドラム・スミスは「市場原理」という神の見えざる手が自由な資本主義を正しく発展させるのたもつたものです。それから230年、相次ぐ恐慌でやぶれかぶれになった資本主義は「新自由主義」という市場原理至上主義で構造改革(規制緩和)と資本家のやりたい放題を強行しました。しかし市場原理のらち外におかれたのが私たち労働者の賃金と農産物の価格です。前者は労使の交渉で決められる市場原理がぶち壊され派遣法などの労働法改悪で生存権すら危なくする雇用破壊をしてみました。後者(農民)はアメリカをはじめとする農産物の自由化でまともな生活も成り立たない惨状です。アダム・スミスを信奉するならば「リスクの固まりの債権」を証券市場でさばらせるのをやめて、憲法27条で保障された労働者の働く権利と農民の生活を保障する農業政策こそ緊急に求められる不況対策です。これを追求する建交労の春闘、団結して頑張りますよ。(本)

「年越し派遣村」

ボランティアに参加して

【片山組分会 広川陽子発】お正月の二日、「行けば、何か手伝うことがあるかもしれない」と思いたち、おにぎり、ゆでたまご、みかんを持って日比谷公園の派遣村に



派遣村湯浅村長の訴えに耳を傾ける村民やボランティアと報道陣

炊き出しの準備をする。派遣切りなどで、職と食べ物と住居を失った労働者は、二千人、三千人と増え、シエフは不眠不休で食事の用意をしていた。

聴診器を掛けてレントゲンを往診する医師や看護師、美容師のボランティアの前に散髪を希望する長い列。全国の農民からは米二トン、野菜、果物が寄せられ、うず高く積み重ねられていた。

年末、年始の六日間、

じん肺根絶 新春のつどい

一月三〇日、主婦会館プラザエフにて、じん肺新春のつどいが行われました。

全国でじん肺根絶の為に裁判闘争中の西日本石炭じん肺、首都圏アスベスト訴訟、建交労のトンネルじん肺原告団など、複数の原告団、弁護団が参加し、闘いを交流しました。

テレビや新聞で知り全国からやってきた労働者は約五百人、直接支えたボランティアは千七百人、募金四千三百万円。残ったお金は「派遣村活動基金」として、全国の「派遣切り」にあった労働者に四〇万人が失職すると推計。

今回の派遣村開設は、いるいるな労働組合や市民団体が協力して実現しました。しかし、「派遣切り」の実態がマスコミで報道され、社会問題に

この日は昨年の中央メーデーで署名活動の支援を都本部として行ったリゾートソリユーション(旧エタニットパイプ)のアスタスト訴訟の代表として香川県本部の合田委員長

も参加していましたが、ニコニコしていらつしやるのでお話しを伺った所、会社側が原告と和解に向けて解決する方向に方針転換し九〇%程の確率で解決しそうだとの事でした。

正式に和解が成立するまで手綱を緩めず、引き続き支援をしていきたいと考えています。

第九回女性部大会 一歩、二歩、三歩 と前に出る活動を

【女性部事務局長 横山恭子発】一月三十一日東京労働会館において、第九回東京女性部定期大会が開かれました。朝からの雨にもかかわらず三〇名の参加がありました。



- 組合掲示板**
- 2月28日 第1回女性部委員会
 - 3月1日 トラックパレード
 - 3月4日 春闘統一要求書第一次回答指定日
 - 3月5日 建交労3・5中央行動
 - 3月6日 東京港総行動
 - 3月7日 第4回都本部執行委員会
葛飾分会定期大会
 - 3月11日 春闘統一要求書第2次回答指定日
 - 3月12日 09春闘ストを含む全国統一行動
 - 3月13日 重税反対全国統一行動
中央執行委員会
 - 3月14日 中央執行委員会
 - 3月18日 春闘統一要求書第3次回答指定日
 - 3月25日 春闘統一要求書第4次回答指定日

部長が派遣村に援助に入った事などパワーある話、都本部から石川書記次長が駆けつけて下さいまし



た。横山事務局長から活動報告、方針の提案があり、「今年女性部一歩、二歩、三歩前に出る活動を」との報告がありました。



休憩の後、参加者からの発言がありました。「一族会社でキムジョンイル体制のような会社で、組合に入ることでいやがらせをはね返した」(東部江東一般)、「今まで公園の中に道具など置けたのに、置いてはいけない事になり、これからどうしようか話さうていく」(大森分会)、「野球場の工事現場になって邪魔にならない様に仕事をしていく」(池袋分会)、「7月には65歳定年になる、会社は移転の予定だがとても不便な所だ」(教宣文化社分会)、「組合発足20年になる、春闘アンケート50近く集めている、分会ニューズも全員に渡している」(片山組分会)、その後議案、特別決議案、大会宣言、新役員承認がされ閉会しました。



小泉内閣の元で自己責任論の悪政が行われ、国民は苦しい状況に追い込まれてきたが、反対運動が旺盛に展開されてきている。参議院では後期高

元気で愉快な

高齢者中央決起集会

【渋谷分会 漆原進発】二月一日(日)この集会の始まりは老人医療費有料化審議に反対し、抗議の集会として一九八二年二月一日開催されました。

このままでは集会后に国会や厚労省に要請や抗議のデモを行って来ましたが今回は休日のため全労連会館の集会でした。

午前の講演は東北大学の日野秀逸先生の講演で「高齢者にとつての健康・医療・介護の危機的状況と打開の方向」と題して行われました。

高齢者医療制度の廃止が決定されているし衆議院で反対が多数になれば一年足らずで廃止に追い込む情勢であります。医師養成も四半世紀ぶりの増加や、いくつかの権利の延長、その他制度の獲得をしてきている。運動の基

本は憲法九条と二五条を柱にすえ、平和と社会福祉の充実をめざし内需拡大につながる高い内容の計画を持って運動しようと思われました。

午後からの講演は福祉大学の矢部広明先生の講演で「介護保険『改正』にどうとらえようか」と題して行われました。

今介護の現場が大変な劣悪の状態に働き、介護されて来ているかを細かくレポートにまとめ報告されました。介護従事者の現場はどうか、介護従事者のために、「一円百アツプ」と宣伝されましたが正規職員八〇万人対象で二〇〇万人の非常勤を含めると一人五万円以上の引き上げが必要といわれます。



高齢者合唱団の演奏

介護福祉士国家取得者は四七万人いても実際の従事者は二七万人で、この仕事が好きでも家庭を持つことが出来ない。離職率三割と「貧困」の職場です。

介護保険で日本の介護はどうなっているか介護を必要とする認定者四七四万人です。相変わらず家族が必死の介護、主な介護者「同居家族六〇%」

老々介護が進行「介護者の六割は六〇歳以上、七〇歳以上は三割以上」

介護者全体の二割以上「ほとんど終日」「介護者の六割以上は「悩み、ストレス」そして高齢者虐待増加、虐待者の介護疲れ」と深刻です。

上り続ける介護保険料二〇〇二年全国平均二九一円/月が二〇一一年度同四二七〇円/月と五割近い値上げになっています。

昼食後の眠い時期も先生の迫力ある話と小話をまじえての話でひきつけられました。

「キューバは医療費教育費が無料であるが麻生内閣の急場『きゅーば』しのぎの予算では解決にならない。愉快で元氣の出演でした。

写真上 角田中央女性部長のご挨拶
写真下 東京都本部女性部のみなさん